

広報 ひろば たいせつ



2/2 フレッシュミズの会、総会及びソーセージ加工体験を行う



3月号目次

各団体総会開催②③④⑤⑥⑦

「あぐり王国」がたいせつ地域にやってきた③

たいせつなここがポイント⑧⑨

たいせつHOTニュース⑩

東鷹栖食品加工販売協議会

「北海道男女平等参画チャレンジ賞」の受賞

農産物直売所"たいせつ"情報「今が旬」

たいせつインフォメーション⑪

理事会からのお知らせ 他⑫



1/25 「北海道男女平等参画チャレンジ賞」の贈呈式が行われる

たいせつ

ホームページURL <http://www.jataisetu.or.jp/>

「準試験栽培最終年となる23年「ゆめぴりか」の作付け」

J Aたいせつ「稲穂の里」協議会

第4回定期総会開催

2月2日、JAたいせつ「稲穂の里」協議会第4回定期総会は、各農事組合・町内会より新たに選出された代議員多数の出席者により本所2階大会議室において開催されました。



「稲穂の里協議会」相澤会長の挨拶

総会は相澤会長の挨拶で始まり、来賓にはたいせつ農協柿林組合長、同松原専務、上川農業改良普及センター田川係長、ホクレン

旭川支所米穀課柴崎係長にご臨席を賜り、代表して柿林組合長よりご挨拶をいただきました。議長には、東鷹栖30区農事組合野中重夫氏を選出し、議案第1号から第5号を上程し、この中でゆめぴりかの作付けに関する意見や要望が数多く出され、今後JAたいせつ「稲穂の里」協議会の中で、協議を行い取り進めていくことで原案通り可決され

JAたいせつ「稲穂の里」協議会役員

平成23・24年度 役員構成

役員名	地区	農事組合名 組織名	氏名	
会長	鷹 栖	25 区	相澤 峰基	
副会長	東鷹栖	17 区	高見 一典	
	鷹 栖	34 区	木下 忠行	
会 計	東鷹栖	23 区	松木 一幸	
幹 事	東鷹栖(中央地区)	12 区	吉田 一雄	
	東鷹栖(東地区)	43 区	谷口 裕次	
	東鷹栖(北地区)	鬼斗牛	村上 光生	
	東鷹栖(西地区)	25 区	山田 幸雄	
	鷹栖(鷹栖地区)	13 区	開澤 克明	
	鷹栖(中央地区)	27 区	佐竹 敏明	
	鷹栖(北斗地区)	北斗北	利根川 泰	
	鷹栖(北成地区)	成 和	松原 正樹	
	団 体	青年部		松田 直人
				野中 剛
団 体	女性部		相澤 裕子	
			橋本智恵子	
監 事	東鷹栖	19 区	布施 善貴	
	鷹 栖	北 維	高橋 雄二	

※任期は、平成24年度までとなっております。

旭川支所米穀課柴崎係長にご臨席を賜り、代表して柿林組合長よりご挨拶をいただきました。議長には、東鷹栖30区農事組合野中重夫氏を選出し、議案第1号から第5号を上程し、この中でゆめぴりかの作付けに関する意見や要望が数多く出され、今後JAたいせつ「稲穂の里」協議会の中で、協議を行い取り進めていくことで原案通り可決され

旭川支所米穀課柴崎係長にご臨席を賜り、代表して柿林組合長よりご挨拶をいただきました。議長には、東鷹栖30区農事組合野中重夫氏を選出し、議案第1号から第5号を上程し、この中でゆめぴりかの作付けに関する意見や要望が数多く出され、今後JAたいせつ「稲穂の里」協議会の中で、協議を行い取り進めていくことで原案通り可決され

係長からは「うるち米を巡る情勢について」それぞれ講演を戴き、出席者からは熱心な質疑が繰り広げられ盛況のうちに総会を締め括られました。



議長に東鷹栖30区野中重夫氏を選出



総会に出席された稲穂の里代議員の方々

**23年は
他の地域を
大きく上回る
面積配分
(約515ha)**

21年より作付けが開始された「ゆめぴりか」は、ブランドを確立することを目的に独自の品質基準などを設定し、全道的な取り組みにより進めて参りましたが、21年は冷夏、22年は猛暑の影響などを受けて、「収穫量」「品質」共にその実力を発揮出来ませんでした。作付け3年目を迎える本年は全道で10、000haの作付けが予

定され、その面積配分については、これまでのゆめぴりかの低タンパク米・1等米数量実績に応じた配分となっており、23年JAたいせつ地区への面積配分は上川ライスターミナルへの全量出荷の取り組みなどの結果から、他の地域を上回る面積(約515ha)の配分となりました。

準試験栽培最終年となる23年の「ゆめぴりか」の作付けについても、しっかりと収穫・出荷出来ないとJAたいせつ地域の明年以降の面積拡大は実現出来ません。今後JAたいせつが「ゆめぴりか」の主産地となる為には、最終年の今年もしっかりと確実に需要に応えることが重要となります。

尚、今回選出されました代議員並びに役員様方におかれましては、任期2年間の中で、「ゆめぴりか」の作付け取り組みや、JAたいせつ米の販売促進等を行い、会員の皆様方と一緒に協議会活動を盛り上げて参りたいと考えておりますので、ご協力をお願い致します。



「あぐり王国北海道」が たいせつ地域にやってきた!



2月26日に放送された「あぐり王国北海道」の中でたいせつ地域が紹介されました。撮影は11日に行われ、東鷹栖40区の大田雅一郎さん宅のイチゴや、女性部加工グループによる、地物食材を使った料理を紹介しました。



第8回定期総会 開催

2月15日、J Aたいせつ女性部第8回定期総会を、鷹栖支所事務所2階会議室において部員194名(うち委任84名)の出席により開催されました。

笹川明美女性部長の挨拶ではじまり、来賓にJ Aたいせつ柿林孝志代表理事組合長、松原剛志代表理事専務、木下正人営農資材部長、青年部より松田直人部長にご臨席戴きました。

続いて議事に入り、議長には東鷹栖支部笠谷弘美さんと鷹栖支部



宮崎久美子さんが選出され、平成22年度事業報告及び収支決算報告、平成23年度事業計画及び収支予算について原案通り承認され、役員改選では新部長に相澤裕子さんが選任されました。

午後からは女性部での農業情勢に関する研修会はあまり機会が少なかったことから、今回、農業振興課の阿戸課長が、講師となり世界、国内、J Aたいせつ地域の農業情勢を研修致しました。



就任のご挨拶



J Aたいせつ女性部
部長 相澤 裕子

日頃より女性部活動に対して関係機関・組合員の皆様にはご支援とご協力を戴き、女性部を代表して厚くお礼を申し上げます。

この度、「たいせつ農業協同組合女性部第8回定期総会」に於いて平成23年度の女性部部长に任命され、新役員とともに力を合わせて一年間活動して参りますのでよ

ろしくお願い致します。

昨年は春の暴風雪で始まり、夏は猛暑と天候に振り回された年でした。水稲については2年連続の不作で、しかも価格が暴落して、今年度以降の営農も心配されます。今年の春作業もそろそろ始まってきましたが、積雪が少なくても多少楽でしょうか。このまま秋まで穏やかな天候を望みます。

女性部では地区リーダー研修、研修旅行、部員交流会、目的別グループ交流会など組織活動を中心に事業を行っています。約200名の部員を抱える大所帯ですが、部員が参加しやすい環境を作っていきたいと思えます。また、昨年発足したフレッシュミズとも連携しながら、組織の活性化を図っていききたいと思います。

J A事業の推進、田んぼアートの新米キャンペーンなど外郭団体の事業にも積極的に参加し、女性部の視野に立った協力をしていきたいと思えます。

最後に「J Aたいせつ女性部」に対して今後ともご支援・ご協力をお願い申し上げます、就任の挨拶に代えさせていただきます。

平成23年度 新役員

- 部長 相澤 裕子(鷹栖支部)
- 副部長 橋本智恵子(東鷹栖支部)
- 書記 阿戸 晴美(鷹栖支部)
- 会計 宮崎千代子(東鷹栖支部)
- 理事 角谷 悦子(鷹栖支部)
- 理事 佐藤ナナ子(東鷹栖支部)
- 監事 川上 幸子(鷹栖支部)
- 監事 鷲尾由美子(東鷹栖支部)

第8回定期総会 開催

2月19日、本所営農センターにて青年部の第8回定期総会が開かれました。

開会にあたり松田直人青年部長の挨拶があり、また来賓として柿林孝志代表理事組合長、相澤裕子女性部長、木下正人営農部長に超越しいただき、代表して柿林組合長より挨拶を頂きました。

議長には東鷹栖支部の中島張氏が選出され、平成22年度事業・会計報告、平成23年度計画案、役員改選案が議事かけられ、原案通



り可決されました。質疑応答では、昨年初めて取り組んだ婚活事業について、収支予算案、TPP参加反対といった活動への積極的な参加についてなどの質問・意見が出され、今後の活動への大きな材料になったかと思えます。

役員改選では、山田喜久雄選考委員長より平成23年度役員が発表され、部長には引き続き松田直人氏が再任となりました。詳細は下記の通りになります。

平成23年度は青年部員53名での



スタートとなりますが、「田んぼアート」を中心としながら、他の事業についても積極的な活動を行うていく旨で総会は終了しました。



平成23年度 新役員

顧問	監事	総務	副部長	部長
		理事	（組 織）	（組 織）
		（営 農）	（東鷹栖支部）	（東鷹栖支部）
		（鷹栖支部）	角 直俊	小野寺昭人
布施 善貴	加藤 嘉亨	佐藤 真晴	渡辺 正尚	高見 章太
		大田 和樹	稲場 純也	野中 剛
		布施 亮治	築取 貴文	西永 和美
				松田 直人

よい食クイズ

Q 「こめかみ」は、お米をかむと動くところ、という意味だ。ウソ？ホント？

A ホント。

何を食べても動くところですが、日本人の主食が大昔から「米」だったことから、「こめかみ」と呼ばれるようになった、と考えられています。



出展：J A 全中発行「こはんぢやワンのお米クイズ（生活編）」より転載

旭川青果物生産出荷協議会

第20回本部定期総会及び

創立20周年記念式典開催

2月4日旭川グランドホテルにて、各支部会員150名（たいせつ支部会員40名）の出席により第20回旭川青果物生産出荷協議会本部定期総会が開かれました。

総会は大田雅一郎会長（たいせつ支部）の挨拶で始まり、来賓の旭川青果物出荷組合連合会会長小山光昭様、旭川市農政部長藤田敏男様、上川農業改良普及センター次長深川渥様、株式会社キョクイチ常務取締役石坂仁様、丸果札幌青果株式会社野菜部取締役部長中村正喜様からご祝辞をいただきました。

議長に八重樫正雄様（たいせつ支部）を選出、議案第1号から議案第6号まで原案通り承認されました。

記念講演が開催されました。

その後、各支部会員150名（たいせつ支部会員40名）来賓56名のご出席を賜り、旭川青果物生産出荷協議会創立20周年記念式典が開かれ、記念式典は大田会長（たいせつ支部）の式辞から始まり、歴代会長及び各取引先市場へ

感謝状を贈呈、来賓の旭川市長西川将人様、鷹栖町長助安嘉和様、旭川青果物生産出荷組合連合会小山光昭様、丸果旭川青果卸売市場株式会社代表取締役社長辻利郎様、徳島青果株式会社代表取締役社長多喜精一郎様、旭川生花市場株式会社代表取締役社長石井重人様よりご祝辞をいただきました。懇親会では、札幌ホクレン青果株式会社常務取締役菊地一弘様の祝杯で始まり、支部会員間の交流も行われ大変賑やかな宴となり、本部協議会長田副会長（旭正支部）のお礼の挨拶及び手締めによ

り、盛況の内に懇親会を終了いたしました。

青果協議会は大変大きな組織ですが、会員全員の協力をいただき活動を盛り上げて参りたいと考えておりますので宜しく願います。



畜産生産協議会定期総会開催

平成23年2月19日（土）鷹栖町紀文寿司において畜産生産協議会定期総会を開催されました。

開会にあたり長野貞美会長より平成22年度の畜産情勢についてなどの挨拶に続き、ご来賓にお願いいたしました松原専務よりご挨拶を頂戴いたしました。議事に入り、平成22年度事業報告並びに決算報告、また平成23年度の事業計画及び予算についても現在隣国である韓国において感染拡大している口蹄疫への慎重な防疫対応、積極的な視察研修等の開催について計画、承認されました。

22年度では、国内での口蹄疫発生という未曾有の畜産情勢を鑑み、視察研修の開催等を自粛した中、田んぼアートフェスティバルでの牛肉販売や枝肉共励会への出品、また、酪農振興会との二団体研修会の開催などできる限りの事業を実施致しました。

総会終了後の懇親会では、市場相場や飼養管理、畜産に関わる厳しい情勢について話しながらもなごやかに懇親を深めました。

新役員

会長 長野 貞美
 副会長 島山 義雄
 会計 大西 敏一
 監査 相沢 広隆

酪農振興会定期総会開催

平成23年2月19日（土）、鷹栖町駒館において酪農振興会定期総会が開催されました。

総会の冒頭に新田健一会長より酪農畜産情勢や韓国の口蹄疫等についてのご挨拶に続きご来賓いただきました松原専務よりご挨拶を頂きました。

議事に入り、平成22年度事業報告並びに決算報告並びに平成23年度事業計画及び予算、役員改選について承認頂きました。

平成22年度については国内における口蹄疫の発生により例年に比べ視察研修等の開催を自粛せざるを得ない状況下の中、家族研修会や後継者研修会、畜産2団体研修会、田んぼアートフェスティバルに連動した牛乳消費拡大運動など、可能な限り多くの事業を計画・実施してまいりました。

総会終了後の懇親会においても平成23年度における防疫対策や生乳需給情勢、T P Pへの懸念など多くの問題について話し合いながら、なごやかに交流を深めました。

新役員

会長 加藤 孝志
 副会長 村椿 直三
 会計 辻本 篤
 監査 野作 毅俊
 " 新田 健一



J Aたいせつ営業時間のご案内

4月1日から10月31日までの営業時間をお知らせ致します。

本所・支所事務所

平日 午前8時～午後5時迄
 土曜日 午前8時～正午迄

本所貯金店舗

平日 窓口業務 午前9時～午後4時30分迄
 ATM 午前9時～午後6時迄

土曜日

ATM 午前9時～午後2時迄

鷹栖支所貯金店舗

平日 窓口業務 午前9時～午後4時30分迄
 ATM 午前9時～午後6時迄

土曜日

ATM 午前9時～午後2時迄

鷹栖町役場

平日

ATM 午前8時45分～午後4時45分迄

営農センター

平日

午前8時～午後5時迄

土曜日

午前8時～正午迄

鷹栖支所営農センター

平日 午前8時～午後5時迄
 土曜日 午前8時～正午迄

メカニックセンター

東鷹栖給油所 平日 午前7時～午後10時迄
 (セルフ) 日・祝祭日 午前7時～午後10時迄
 鷹栖給油所 平日 午前7時～午後8時迄
 (セルフ) 日・祝祭日 午前7時～午後8時迄

整備工場

平日 午前8時～午後5時迄
 土曜日 午前8時～午後5時迄



水稲

水稲作業がいよいよスタートの時期となりましたが、昨年は3月の降雪による融雪の遅れや暴風害によるハウス等の被害、さらに5月の低温により生育が遅れました。

しかし、6月からは生育も順調に推移し平年並みまで回復しましたが、心白粒が発生し、「作柄や品質の低下」により2年続けて残念な結果となりました。

今年「米どころ」としての評価維持のため、「使用農薬11回成分以内の完全実施」と「求められるニーズへの対応」を生産者皆さんの総意で取り組みましょう。

1. 早期移植に向け、計画的に作業準備を立てましょう

① 作業計画の決定
良質・良食味米生産には、適期内移植（5月25日まで）・適正な栽植密度にすることが重要な技術となります。移植予定日から逆算して、作業に向かいましょう。

育苗様式毎の必要箱数等は表1の通りです。

表-1 育苗様式別

	中苗		成苗	
	箱マット	型枠	みのる成苗ポット	イセキ成苗ポット
育苗日数	30日 (3.5葉)		35日前後 (3.5~4.0葉)	
移植早限	5月15日 (12.0℃)		5月13日 (11.5℃)	
移植晚限	5月25日			
栽植密度	25株以上/m ²		株間13cm (23.3株)	
育苗箱数 (10a当たり)	34~40箱	34枠程度	52~56箱	48~52箱

- ② 育苗ハウスの準備

(1) 融雪促進

除雪や融雪剤（サンアッシュ等）散布をし、早期融雪に努めましょう。

- ② ハウスの準備

③ ハウスの準備
早期にビニールを掛けて床土の乾燥と地温上昇に努めましょう。床土の乾燥が不十分なまま耕起すると、育苗期間中の地温が上がりにくく、根の伸長・苗の生育不良や立ち枯れ病の原因となります。また、ハウス周辺に明渠等を掘り、融雪水がハウス内に入らないようにしましょう。

(3) 床土の酸度矯正と施肥
土壌のpHとECはできるだけ早く測定し、適正なpH（4・5

表-2 育苗土の施肥基準

項目	中苗		成苗	
	箱マット	型枠	みのる成苗ポット	イセキ成苗ポット
10a当り必要箱数	34~40箱	34枠程度	52~56箱	48~52箱
基肥	床土	S066 10g/箱 (窒素成分 1,0g/m ²)	—	S066 5g/箱 (窒素成分0.5/m ²)
	置床	—	S066 1.0kg/坪 (窒素成分0.1kg/坪)	—

（5・0）に矯正し健苗育成に努めましょう。また、育苗年数の長いハウスではリン酸が蓄積していることが多く、リン酸過剰障害（苦土欠乏症状）の発生が心配されます。精密土壌分析結果により、リン酸値が高い場合や昨年に症状が見られた場合、置床の施肥を単肥でするなどの対策を行って下さい。

(4) 置床の施肥

置床の施肥量は、施肥基準（表・2）を基に行いましょう。

- ③ 温湯消毒種子の浸漬と催芽について

今月下旬より温湯消毒処理した種子を順次配布します。消毒された種子は無菌状態であることから、配布後は雑菌の付着を防ぐため直ちに浸漬しなければなりませんので事前に準備をお願いします。



(1) 浸種

平成22年産種子は、高温で経過し、休眠が例年より深くなっておりますので、平均水温11℃のの水に10～12日程度浸漬し、期間中は必ず1日おきに水を交換して下さい。交換にあたっては、種子を30分程度空気にさらして酸素供給をしましょう。催芽後、は種までに間隔があく場合は水温5℃程度の水に漬けて下さい。

(2) 催芽

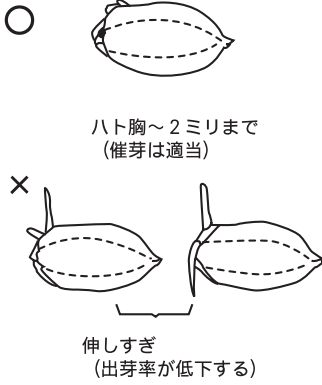
催芽は、ハト胸～2mm程度までとし、発芽不揃いにならない様に注意しましょう。

蒸気式・静置式催芽機の場合

蒸気式または静置式により催芽を行う時は、褐条病の発生を抑えるため、温度は28～30の低い温度で催芽してください。

循環式催芽器の場合

循環式催芽器を使って催芽す



る場合は、必ず食酢を使用し褐条病を抑えてください。

- ・ 催芽のときに食酢（酸度4・2%の穀物酢）を使用する。
- ・ 希釈倍率は、50倍とする。
- ・ 催芽温度は30～32で行い、一度使用した食酢液は、使用しない。

催芽後の種子は、そのまま播種できますので、水洗いをする必要はありません。

2. 水田の乾田化に向けた透排水

対策を実施しましょう。

(1) 水田の融雪促進を

融雪剤による融雪効果は、一般に1週間程度、条件がよければ10～13日程度融雪が早まります。

時期は融雪剤の散布は平均気温がマイナス3℃になる3月中旬頃に実施

資材はケイ酸資材を施用する。

（融雪効果と兼ねる）

- ・ 水稲には、窒素の10倍近くも多量のケイ酸が必要です。

（表・3）

ケイ酸の効果はすぐには出にくいので、毎年の施用が必要。

表-3 土壌型とケイ酸

土壌区分	ケイカル (kg/10a)
グライ土・泥炭土	150～180
灰色低地土・灰色台地土	120～150
褐色低地土	90～120

(2) 融雪後の停滞水の早期排除を融雪を促進しても停滞水があると水田の乾燥は遅れます。溝切り等により積極的な排水対策を講じましょう。

(3) 稲ワラは、焼却せずに搬出し

ましよう。稲ワラの焼却は、産地イメー

ジ低下・環境問題等さまざまな問題が発生します。また、昨年は不稔の発生が多くなり、特に不稔歩合が30%を超えた水田・いもち病が発生した水田は乾物量が多く、土壌還元害（ワキの発生）が想定されます。

ますので、す

き込ま

ないで

搬出し

ましよう。



① 融雪促進

秋まき小麦を作付している圃場では、積雪期間が長期化することによって雪腐れ病による被害が拡大し穂数確保が困難となり、収量の低下が心配されます。このため積極的に融雪剤を使用し融雪促進に努めましょう。また、大豆・春まき小麦の作付を予定されているほ場についても積極的にに行い、土壌乾燥・地温上昇に努めて下さい。

ただし、初冬まき春小麦のほ場については、融雪剤を散布することにより融雪水が停滞し、発芽不良となることが懸念されますので、融雪剤は散布しないようお願いいたします。

② 透排水改善

透排水性が不良だと長雨や大雨などの滞水による過湿により、根腐れや病害の原因となります。雪上心土破碎や融雪後の停滞水の排除（溝切り等）により、乾燥促進に努めましょう。

東鷹栖食品加工販売協議会
「北海道男女平等参画チャレンジ賞」の受賞

去る1月25日、平成22年度「北海道男女平等参画チャレンジ賞」の贈呈式が北海道庁3階知事会議室にて行われ、東鷹栖食品加工販売協議会が「輝く北のチャレンジ賞」を受賞されました。

この賞は、平成16年度より創設され、職場・地域・家庭あらゆる分野において、個性と能力を生かしてチャレンジし活躍している男女や団体・グループを対象としており、その活動を広く紹介すること、男女平等参画社会実現への気運を高めることを目的とし、今年度は、自ら生産した農産物を加工・販売し、「野土花」ブランドとして付加価値をつけ、地元での販売やインターネット販売のほか、様々な「食」のイベントへの参加、また、地元ホテルシェフの協力のもと「野土花」農産加工品を使用したレシピ本を発行するなど、積極的な活動展開と地域活性化へ向けた取り組みが認められ今回の受賞に至りました。



高橋はるみ知事と記念撮影



高橋はるみ知事(右)から表彰を受ける遠藤純子さん(中)と谷イチ子さん(左)
(共に東鷹栖32区)

農産物直売所「たいせつ」情報
今が旬

「おいしい倉庫旭川」コーナーを新しく設置しました！

2月より販売開始。つくり手の思いが伝わるように安全・安心でおいしい地域産品を提供しています。クッキー・はちみつ・食べるラー油・りんごジュース・ジャム・りんご・黒米うどん他販売中です！

新規出荷者大募集！

組合員なら誰でも出荷できます！
・ 毎日出荷できなくても構いません。マイペースで出荷できます。
・ 規格外でも構いません。
・ 少量品目でも構いません。
「この春から」野菜を出荷したい方、少しでも興味をお持ちの方は、直売所までお気軽にご連絡下さい。よろしくお願ひします。

3月の注目野菜・果物

南さつま産
きんかん・たんかん
ミニトマト・ピーマン

「おいしい倉庫旭川」とは？

旭川やその近郊で生産された農産物を使って製造された、おいしくて安全な旭川の加工食品をPRするチームです



営業時間
T 10時～17時
E 毎週月曜日
L 2141

たいせつ

インフォメーション

メカニックセンターからのお知らせ



アルーダ旭川

3 / 18 金

オープンフェア

9:00~15:00



アルーダ旭川が
今年もオープンします！！
優良中古農機も多数展示！

欲しい機械が
きっと見つかるはず！！
お気軽にお越しください！



開催場所

ホクレン油機サービス
中古農機常設展示場
(旭川市永山2条13丁目)

主催：上川管内農協購買研究会農業機械部会／ホクレン油機サービス／ホクレン

理事会からの報告

平成二十三年一月二十四日第十三回理事会で次の案件について協議し承認決定されました。

区七会場で開催することを承認決定致しました。

四、第八回通常総代会開催日時・開催場所について

たいせつ農協第八回通常総代会を平成二十三年四月二十二日（金）午後一時より、たかすメロディーホールにて開催する事を承認決定致しました。

五、新たなFAXシステムの概要・推進方策について

平成二十三年度事業に導入する固定資産・リース資産の取得計画について協議し承認決定致しました。この計画（案）については、一月の地区別懇談会及び三月の農事組合懇談会で説明致します。

二、役員報酬額答申について

平成二十三年度の役員報酬額について、役員報酬審議会において慎重審議され、理事十二名の報酬の総額は二百九十五万円の範囲内、監事三名の報酬の総額は六百六十万円の範囲内とする前年度同額での答申を受け承認され、総代会提出議案とすることで承認決定致しました。

三、農協事業地区別懇談会の開催について

平成二十三年度固定資産取得計画や農協事業運営等についての懇談会を、一月二十七日・二十八日の二日間を計画し、両地

余金処分案について

平成二十二年年度決算について報告し、全国監査機構並びに監事監査を受けることで承認決定されました。

三、平成二十三年度手数料等及び料金・料率について

平成二十三年度営農資材部門の各種手数料・料金料率について原案通り承認決定されました。

四、鷹栖町農業振興対策協議会委員の推薦について

鷹栖町農業振興対策協議会委員に、松原剛志代表理事専務、大西敏一筆頭理事を推薦致しました。

五、全国共済農業協同組合連合会への出資増口について

全共連への出資増口について承認決定されました。

六、給与規定、準職員給与規定Aの一部改正について

給与規程、準職員給与規程Aの一部変更について、原案通り承認されました。

七、地区別組合員懇談会の意見集約について

一月二十七日・二十八日に実施しました農協事業地区別懇談会での意見集約について報告があり承認されました。

「たいせつ」のあゆみ

2月

2月2日 JAたいせつ「稲穂の里」協議会定期総会

2月3日 企画会議

2月9日 上川管内JA理事研修会

2月15日 JAたいせつ女性部定期総会

2月17日 第14回理事会

2月18日 自治監査 28日

2月19日 JAたいせつ青年部定期総会

編集後記

少しずつ日も長くなり始め、春の兆しが見え始めました。農作業についても春作業がスタートする頃合いかと思えます。

私も農協に入ってもうすぐ一年が経ちます。4月には新しい職員が入ったり、また総代会を経て人事異動もあるかもしれませんが、それらが終わった後にでもJA職員の紹介を載せようかと考えています。